

小児科通院中に症状範囲が広がった乳児アトピーの経過 (4 か月乳児)

症例 ID：001-00-FJ | 記録日：不明

1. 診断・治療前経過

生後2週間頃から顔に小さな湿疹が出始めました。1か月健診では乳児脂漏性湿疹とされ、日によって湿疹が強くなる状態が続きました。

生後3か月から4か月後半にかけて小児科を受診し、内服薬や外用薬を複数使用する生活となりました。食物アレルギー用ミルクへの変更、1日5〜6回の洗浄と外用処置も行われましたが、湿疹の範囲は広がり、膝裏にも症状が出ました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	小児科通院中にステロイド外用薬が処方されましたが、保護者は使用したくないと考え、使用せずに松本医院を受診されました。
製品名	不明。
強度	不明。
使用期間	使用なし（処方のみ）。
中止時期	使用前に松本医院を受診されました。
来院前／後	来院前に処方歴があります。来院後の使用はありませんでした。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
生後2週間頃	来院前	顔に小さな湿疹が出始めました。
生後1〜2か月頃	来院前	1か月健診で乳児脂漏性湿疹とされ、日によって湿疹が強くなる状態が続きました。
生後3〜4か月後半	来院前	小児科で、内服薬や外用薬など多い時で7種類の薬を用いる生活となりました。食物アレルギー用ミルクへの変更、1日5〜6回の洗浄と外用処置も行われましたが、湿疹の範囲は広がりました。
2月10日頃	来院前	膝裏にも湿疹が出て、今の治療を続けても治らないのではないかという不安から、松本医院を受診されました。
松本医院受診後	治療開始	漢方風呂を開始しました。1回に2袋を煎じ、沐浴と入浴で1日約2時間を目標に行い、実際には1回40分から1時間ほど入浴しました。
治療1〜3日目	初期	耳たぶのジュクジュクが落ち着きました。一方で、かゆみが続き、顔を引っかいたため、湿疹や傷が漢方で茶色くなりました。
4日目〜2週間	初期変化	顔に出ていた湿疹はほとんど目立たなくなりました。以前は引っかくとすぐに出血していましたが、出血しにくくなりました。
3週間〜3か月	症状の波	それまで湿疹が出ていなかった部位にも症状が出るようにな

		りました。しばらくすると治り、また出るという波が続きましたが、日に日に皮膚が強くなり、引っかいても出血しにくく、治りが早くなりました。
3 か月後	漢方風呂終了	顔はきれいな状態となり、漢方風呂は終了しました。その後は、こまめな消毒、石鹸での洗浄、外用薬で様子を見る方針となりました。
その後	経過後	症状が落ち着いた後、継続的な来院はなくなりました。

4. ピーク時期

症状と生活負担が強かった時期は、生後 3 か月から 4 か月後半にかけて、複数薬剤の服用・外用、食物アレルギー用ミルクへの変更、1 日 5～6 回の洗浄が続いたにもかかわらず、湿疹の範囲が広がり、膝裏まで症状が出た時期です。松本医院での治療開始後には、3 週間から 3 か月の間に、それまで湿疹が出ていなかった部位にも症状が出ては治まる波がみられました。

5. 困りごと

- ・ 3 か月の乳児に多くの薬を服用させることへの不安がありました。
- ・ 薬の時間に合わせて乳児を起こす必要があり、生活が時間刻みになりました。1 日 5～6 回の洗浄と外用処置も負担となっていました。

食物アレルギー用ミルクを嫌がり、授乳・哺乳の面でも負担がありました。松本医院受診後は、服薬時間に追われず、乳児をゆっくり寝かせる生活になりました。

6. 経過のまとめ

生後 2 週間頃から顔に湿疹が出始め、生後 3～4 か月後半には内服薬・外用薬・頻回の洗浄・ミルク変更を続けても膝裏まで症状が広がり、松本医院受診に至りました。治療開始後は漢方風呂を続け、1～3 日目に耳たぶのジュクジュクが落ち着き、4 日目～2 週間頃には顔の湿疹がほとんど目立たなくなりました。3 週間～3 か月は湿疹が出たり治まったりする波がありましたが、3 か月後には顔がきれいな状態となり、漢方風呂は終了しました。その後は消毒、石鹸洗浄、外用薬で様子を見る方針となり、症状が落ち着いた後は継続的な来院はなくなりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。